

昭和26年10月8日第三種郵便物認可 每月1回1日発行
令和4年9月25日印刷 令和4年10月1日発行 第72巻第10号 通巻第853号

不二

小学上級版 4・5・6年生用



第44回全国公募千字文大会成績発表

10/2022

公益財団法人 日本書道教育学会

主催 日本書道藝術専門学校・日本書道教育学会／後援 文化庁

第44回 全国公募千字文大会 文部科学大臣賞 受賞作品

中国南北朝時代、梁の武帝の命を受けた周興嗣は王羲之の草書文字千文字を、一夜にして四言二百五十句から成る「千字文」として編集しました。千字全てに亘り一文字の重複もなく、自然と人生を包含する美しい詩情は、一つの文学としても価値の高いものです。

石橋犀水博士は書道教育の集大成として日本書道藝術専門学校を創立されたのと同時に、漢字学習と書技の上達に大きな役割を果たしてきたこの「千字文」を題材とした千字文大会を企画開催されました。

以来、多くの皆様からご出品をいただきながら、44回を数えるに至り、本年も8,850点もの作品が全国各地より寄せられました。幼年・小学生毛筆の部、中学・高校毛筆の部、一般毛筆篆刻の部、一般硬筆の部よりみごと最高賞である文部科学大臣賞に輝いた四作品をここにご紹介いたします。

毛筆 小学部 II 西 らん子

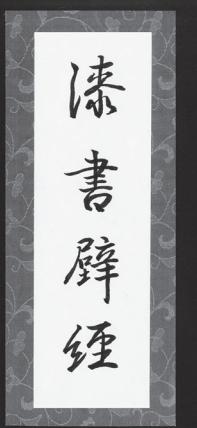


墨字は筆が色に染まるよ

この心も毫に染まり易いと感めた

匠

毛筆 中学・高校部 清月 石垣 匠



性 靜 情 逸 心 動 神 瘦
守 真 志 滿 逸 物 意 移
堅 持 雅 操 滴 翠 刻

篆刻 一般部 広島 三吉 重三

第44回千字文大会授賞のお知らせ

去る、令和4年7月31日実施の第44回全国公募千字文大会
【硬筆の部】におきまして、あなたの作品は
文部科学大臣賞と決定いたしました。
此處に心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

第44回全国公募千字文大会
審査委員長 石橋 醍城
運営委員長 石橋 智子



特別賞（文部科学大臣賞、日本書道藝術専門学校校長賞、
学会理事長賞、静岡県知事賞）を受賞された方々へは
Web レタックスで受賞をお知らせしております。

硬筆 一般部 公津 芦村加代子

※上級版の特別賞受賞作品は46頁～47頁にも掲載しております。

主催 日本書道藝術専門学校・日本書道教育学会／後援 文化庁

第44回 全国公募千字文大会

特別賞受賞作品

日本書道藝術専門学校校長賞

名徳建立

義若 奏

六年生 玉野 義若 葵

日本書道藝術専門学校校長賞

辰宿列張
星は天空に
きらめく

高嶋 桜咲

支名 段名 段名 段名 段名 段名

四年生 仙水 高嶋 桜咲

日本書道藝術専門学校校長賞

九川
白雪 原山 大雅

四年生 白雪 原山 大雅

生命の詩人 矢澤 宰

数年前、私は矢澤宰という人の詩を作品の題材にしていました。昭和十九年生まれの新潟県見附市の人です。小学校に入学してすぐ結核という病気を発症します。今は治る病気ですが、当時は完治は難しい病でした。病と闘いながら一年遅れで小学校を卒業しますが病気が悪化し、絶対安静の中、詩に出会い、病床で詩や文章を沢山書きました。回復し高校に入学し、詩作と美術にも力を入れますが、又悪くなり入院。闘病を続けますが二十一歳でその生涯を終えます。わずか二十一年の人生で詩を五〇〇編あまりも作ります。残された日記には、迷いながらも強く生き続けようとする姿が見えてきます。矢澤の詩は、美しい言葉で情景が目に浮かぶ、透明感があるものが多いですが、どこか切なさが残ります。病気でなければもっと多くの経験をしたかったことでしょう。

健 康 で い る こ と は 、 そ れ だ け で 恵 ま れ て い る と い う こ と で す 。 皆 さ ん に は 每 日 を 精 一 杯 生 き て ほ し い と 願 つ て い ま す 。

(書家／新潟県書道協会顧問)

本会参与 中村 城翠

なかむら じょうすい

第44回全国公募千字文大会

特別賞受賞作品 表2

卷頭言／目次 表3

今月の課題 半紙 四年生 表4

半紙 六年生 表5

硬筆 四・五・六年生 表6

条幅 四・五年生 表7

条幅 六年生 表8

最優秀作品 表9

手本のならないかた 表10

優秀作品 表11

八月月例競書成績表 表12

みんなのこえ 表13

第44回千字文大会成績発表 表14

故事成語 表15

競書出品のしかた 表16

硬筆用紙 表17

のびのび君 表18

出品券／課題予告／あとがき 表19

全日本学生書道展公募規定 表20

表紙 デザイン 石橋 應和 龍門石窟の孫悟空の拓本より 表21

しめきり厳守 【今月の出品期間 9月29日(木)～10月12日(水)】

※ 11月号(9月28日～9月30日発送)発表の段級を10月出品の作品に書いて出品してください。

目

次

段級検索 | Dのご案内は 26 ページをご覧下さい。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

〔半紙4年生〕

小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・八）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

出品券をはる

バーコード
出品券をはる

出雲大社

（手本のならいかたは10ページ）

教室 段

名前

級

出雲大社

出雲大社

☆はじめて出品するときはこの中の一字だけを書
いても出せます。一字だけを出品する場合は、
「四年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。
ていねいに書きましょう。

〔半紙5年生〕

小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・三・八）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・3・10）で記入

出品券をはる

バーコード
出品券をはる

教室

段

名

前

級

☆はじめて出品するときはこの中の一字だけを書いても出せます。一字だけを出品する場合は、「五年」と学年を出品券横に明記して下さい。

野

分

野
分
ふ
く

（手本のならいかたは10ページ）

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。
ていねいに書きましょう。

[半紙6年生]

小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・八）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

出品券をはる

バーコード
出品券をはる

細道秋草

（手本のならいかたは11ページ）

教室

段

名

前

級

秋 細 道

草 道

☆はじめて出品するときはこの中の一字だけを書
いても出せます。一字だけを出品する場合は、
「六年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。
ていねいに書きましょう。

[硬筆 6 年生]

[硬筆 5 年生]

[硬筆 4 年生]

南極は 地球でゆいいつの国境なき大陸である

の国境なき大陸である

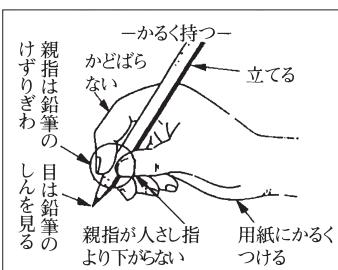
本を読むことは 人生を豊かにしてくれる

豊かにしてくれる

千里の道も 一歩から 石橋をたたいてわたる

千里の道も 一歩から

★用具は鉛筆または呉竹かたべん(サインペン)、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
(なるべく鉛筆で書くようにしましょう)
★清書では消しゴムを使用しません。



鉛筆の正しい持ち方

学習のポイント

- 余白や分間の意識を大切に習いましょう。
- 漢字かな交じり文での縦書き表現の基本を学びましょう。
- 筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
- ☆ 名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。
- ☆ 鉛筆は 2B か 3B を使うのがぞましい。
- ☆ 清書では消しゴムを使用してはいけません。

じょうふく
【条幅5年生】 小久保嶺石先生書

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級黒の算用数字)

月別出品券

紙

名
風

船

バーコード出品券をはる

【お願い】条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段(赤の漢数字)、名前、級(黒の算用数字)」
を書いてください。

じょうふく
【条幅4年生】 小久保嶺石先生書

教室名
紙
風
船

段(赤の漢数字)

名前

級黒の算用数字)

月別出品券

笛

名
の

音

バーコード出品券をはる

★条幅の大きさはたて68cm×よこ23cm(全紙6分の1)です。

学習のポイント

〔条幅6年生〕 小久保嶺石先生書

芸
術
家

漢字大字の表現と鑑賞

筆使い

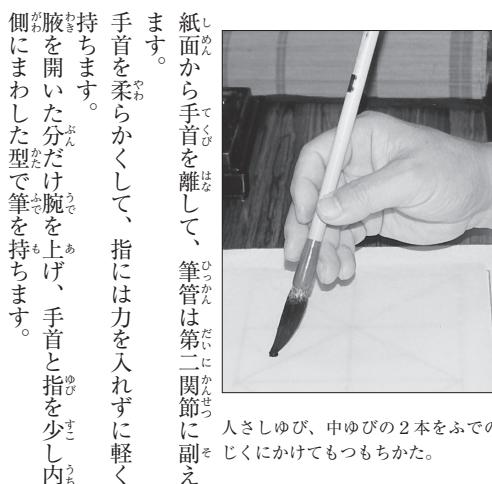
条幅作品では、筆使いを工夫して書きましょう。筆の鋒（は）の弾力（だんりょく）を使って、のびのびと。

反省と鑑賞

書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましょう。全体感、三字の収め方を確かめましょう。

名前はしあげです。全体を見て入れましょう。

章法（構成）



これは運筆のときの筆と手指、腕の状態を示しているのではありません。ご注意を！

— 9 —



出品券横に〇年と学年を明記して下さい。

バーコード出品券をはる

★段は赤の漢数字（初・二・八）、級は黒の算用数字（1・2・10）で記入。

(手本のならいかたは 15 ページ)

手本のならいかた／半紙

小久保嶺石先生書

ここに注意 4年生

ねらい

★半紙四字書き課題。

★点の向きに気をつけて書く。

学習のポイント

出：二・三画めと四・五画めは同じ点画の形ですが、下

の方を少し大きめにまとめるとバランスがよい。

雲：「重」（雨かんむり）を「云」が支える。五・六・七・

八画めの表情のちがいをしっかりととらえる。

大：一画めは右上がりに、左右のはらいをのびやかに。

社：「社」（しめすへん）が右に出すぎないように注意する。旁の下部の余白に注目。



ここに注意 5年生

学習のポイント

野：「里」（さとへん）と旁が譲り合うようにして調和

を図る（相讓相避）。偏の下部に余白が生まれるよ

うに、「予」をたて長にまとめるとバランスがよい。

分：バランスをとるのがむずかしい字。「八」と「刀」

の位置を、お手本でよく確かめて書く。

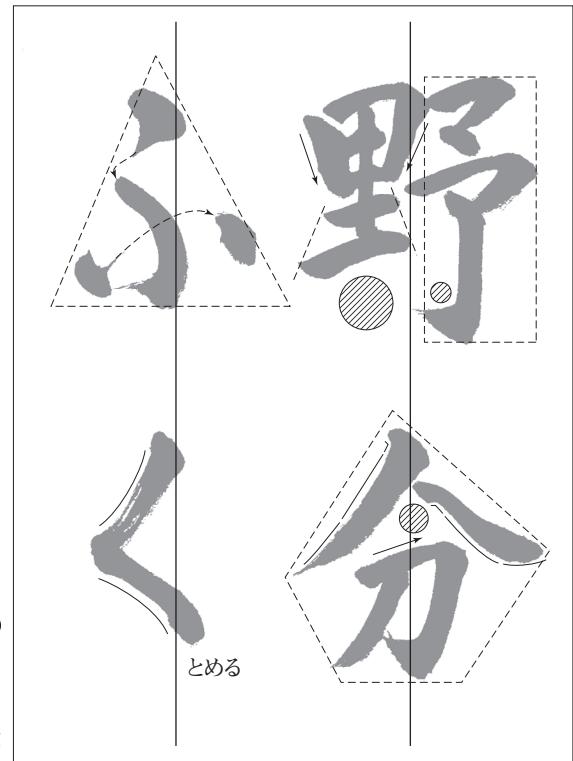
ふ：三角形の概形をイメージしながら、気持ちを切ら

さすに流れよく筆を運びたい。

く：転折（折れ）では、腕を上げて鋒先の向きを変える。

野分とは秋から冬にかけて吹く、野の草を吹き分けるような強い風のこと。

小久保嶺石先生書



手本のならいかた／半紙

小久保嶺石先生書

ここに注意

6

年生

学習のポイント

細…「糸」(糸偏)の変化に注目。筆順もよく確認する。

道…「辶」(辶によう)と「首」の位置関係をよく観察して、バランスをとりたい。

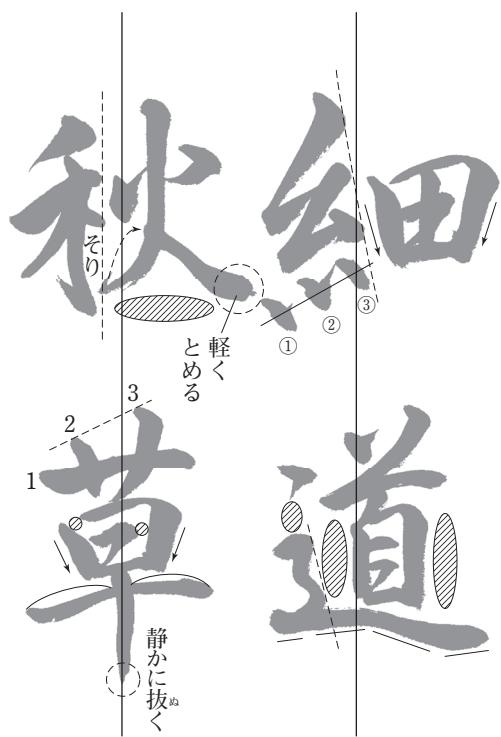
秋…「禾」(のぎ偏)は右に出過ぎないようにして、「火」の左右のはらいをスッキリのびやかに表現する。

草…「艹」(草冠)と「早」の組み合わせ。字の中心を意識する。

★やさしい行書の練習。

ならい

◎あきに注意



Q. 天と地というのは?

A. 昇段試験が行われない月では、1級以上の人の中品はよい方を天、その他を地の二段階にわけてあります。天・地はその月かぎりの成績です。

(たとえば前月〈初段・天〉でも、翌月〈初段・地〉となる場合もあります。)

Q. 「不」にのつた優秀作品は返してもらえるの?

A. 写真版掲載作品を返却ご希望の方は、掲載後三か月以内に、「上級版○月号、部門(半紙・硬筆・条幅)、

○ページ、学年、名前、郵送先の住所、ご連絡先電話番号」を明記し、一作品につき手数料一、〇〇円の郵便小為替を同封の上、「日本書道教育学会写真版係」までお送りください。到着しだいお返します。

(競書作品は努めて保護しますが、審査による損傷にはその責任を負いません。)

Q. おともだちのカットはいつのるの?

A. みなさんからたくさん届いています。送つてから三ヶ月待つていてくださいね。

(大きさがちがつたり、名前や学年が書いていなかつたりするとのせられませんので気をつけてください。)



しつもんいりじり

てほん
手本のならいかた／硬筆

4年生

○同じ広さ

◎あきに注意

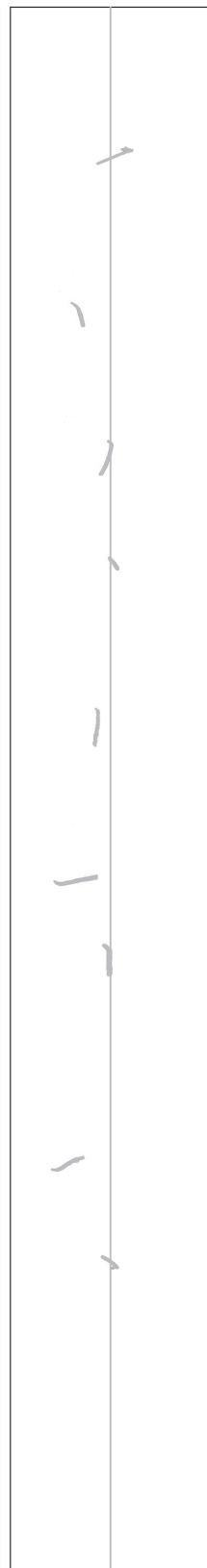
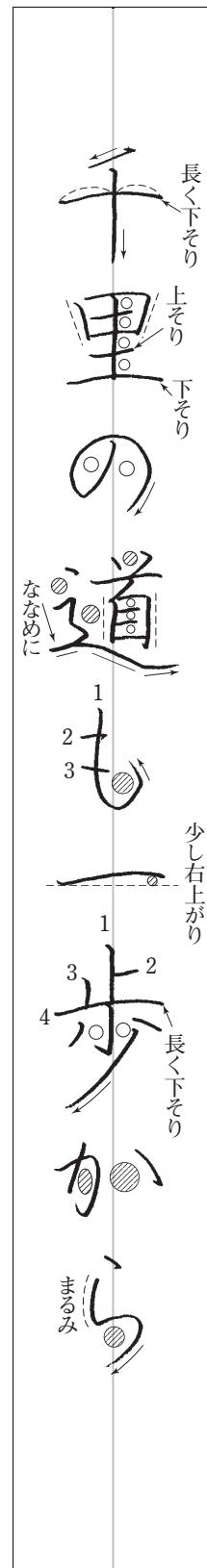
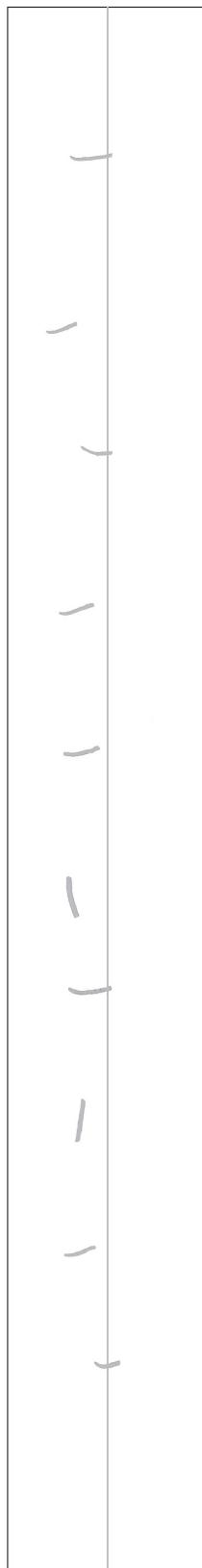
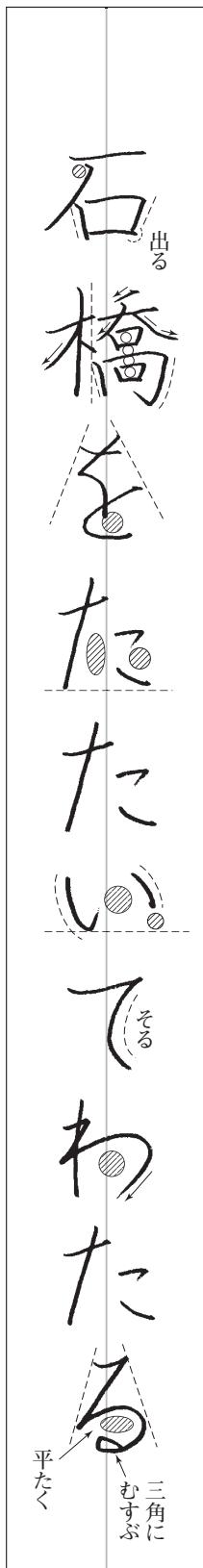
※上をそろえた書式で書いています。

※算用数字は筆順の一部を示しています。

※1画めの起筆の部分を示しています。

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

福原 溪春 先生書



てほん 手本のならいかた／こうひつ 硬筆

5年生

○同じ広さ

◎あきに注意

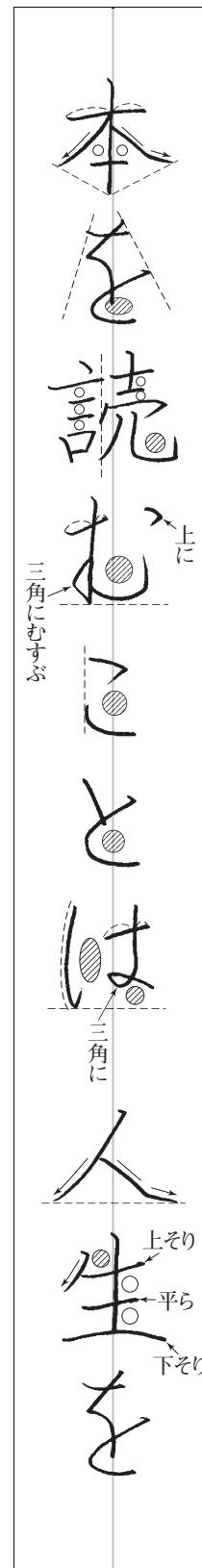
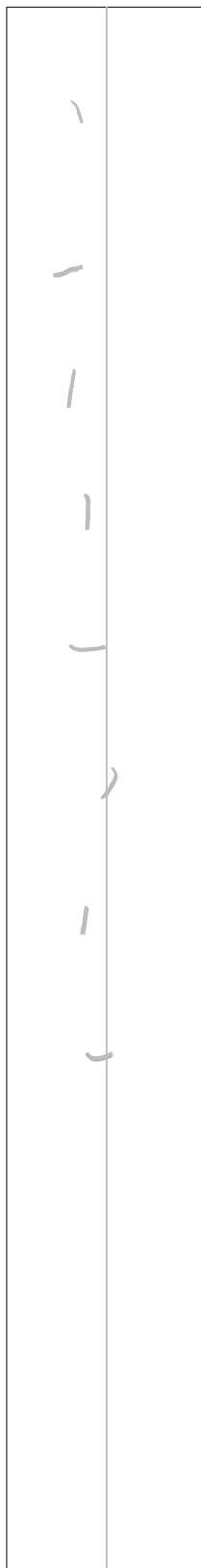
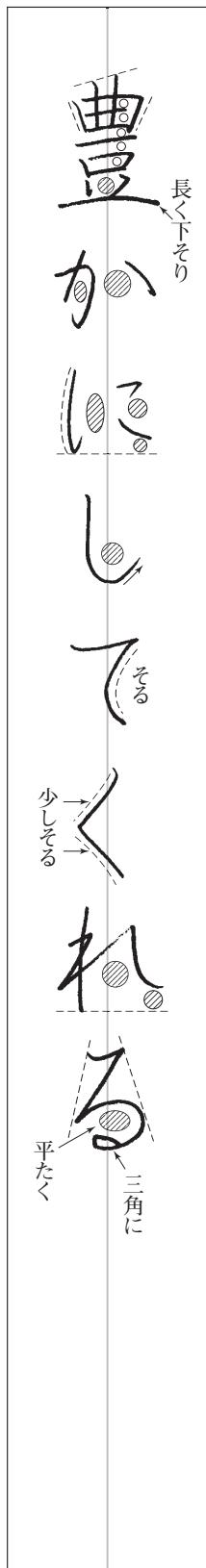
※上をそろえた書式で書いています。

※伝統的な毛筆表現にならつて句読点を省いています。

※算用数字は筆順の一部を示しています。

※1画めの起筆の部分を示しています。
※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

福原 溪春 先生書

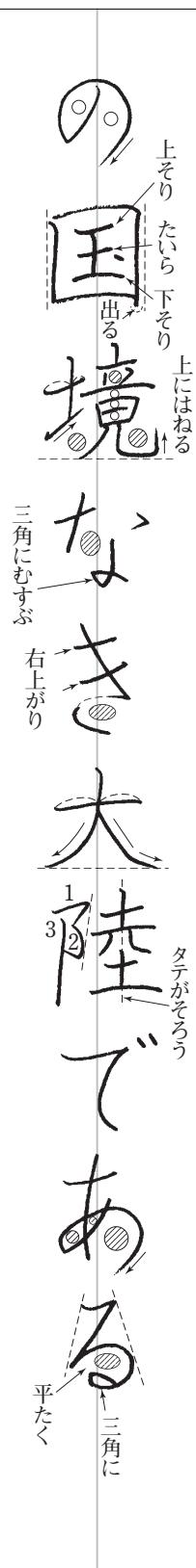


てほん 手本のならいかた／硬筆 ひつ こう

6 年生

○同じ広さ ◎あきに注意

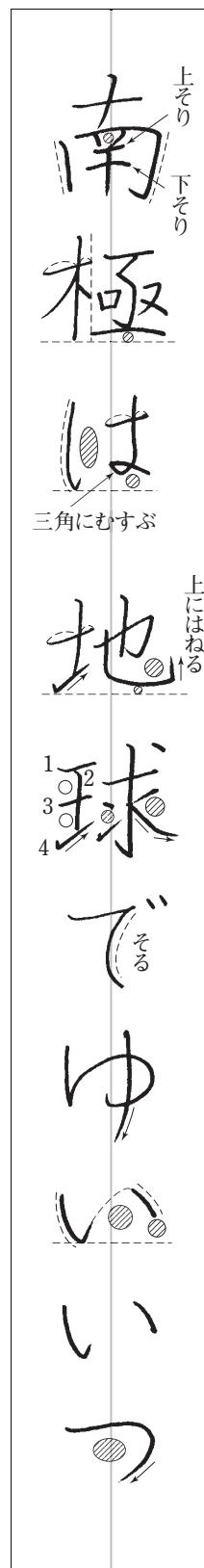
※上をそろえた書式で書いています。
※伝統的な毛筆表現にならつて句読点を省いています。



※算用数字は筆順の一部を示しています。

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

ふく はら けい じゅん
福 原 溪 春 先 生 書



てほん 手本のならいかた

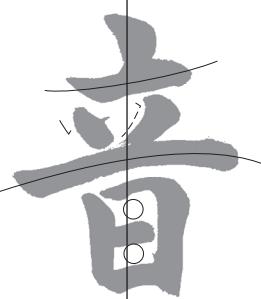
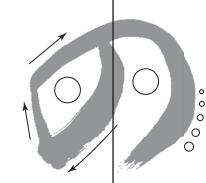
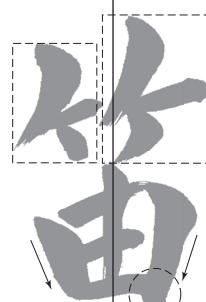
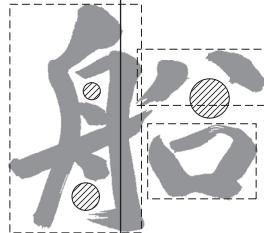
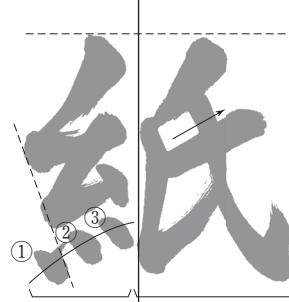
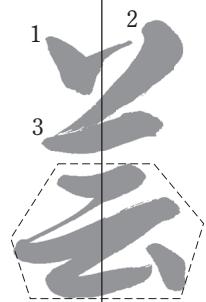
小久保嶺石先生書

じょうふく 条幅

小久保嶺石先生書

小久保嶺石先生書

【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、名前、級（黒の算用数字）」を書いてください。



ここに意 6年生

ここに意 5年生

ここに意 4年生

○広さに注目

◎あきに注意

学習のポイント
笛…「竹」（竹冠）の右側と左側の表現の違いを理解する。

音…二・五画めの上下のそりに注意。「日」が「立」を支えるように。

学習のポイント

紙…偏と旁の大きさに注意して、バランスよくまとめたい。糸偏の筆順の変化にも注意する。

風…「凡」（風構え）の書き方を学ぶ。一画めは、起筆・送筆・收筆と鋒先が紙面を突くように書くことが大切。

船…「舟」「八」「口」の三つの部分から成る。余白をとつて明るい表現を目指す。

学習のポイント やさしい行書の練習。

芸…「サ」（草冠）を流れよく「ソ」「一」の順で書いている。「云」は六角形をイメージしてまとめる。

術…「イ」「ボ」「二」から構成される。部首は「行」（行構え）。画数が多いので密にならないよう、細めの線でリズムよく筆を運ぶと良い。家…「フ」（ウ冠）をゆつたりと書き、「豕」を中に収める。点画の組み合わせ方や長短、向きをよく確認する。

第72回全日本学生書道展^{公募規定}

出品期間：令和4年10月3日（月）～10月7日（金）

〈趣旨〉 感受性に富む幼少年期の児童、生徒達に書道作品発表の場を提供し、書道研鑽を通して、我が国の大誇る伝統ある文字芸術、書道の知識を豊かにし、感性を陶冶し、未来を担う豊かな人間育成に貢献すると共に、日本人としての自覚と誇りを持つ人材の育成に資する。

部 門	寸 法	出品料（税込）	表装料（税込）
① 幼・小学部 全紙 1/6	縦 68cm×横23cm	1,500 円	3,300 円
② 幼・小学部 一字書	縦 34cm×横35cm	1,500 円	3,500 円
③ 中学部 半切 1/2	縦 68cm×横35cm	2,000 円	3,500 円
④ 中学部 一字書	縦 58cm×横53cm	2,000 円	4,700 円
⑤ 高校部 半切	縦136cm×横35cm	3,000 円	4,000 円
⑥ 高校部 一字書	縦 58cm×横53cm	3,000 円	4,700 円

- * 縦作品のみで横作品は不可。
- * 作品は「未表装」のまま出品すること。
- * 各部とも出品点数は制限しない。
- * 各部とも選文・書体自由。
- * 臨書の場合は、出典、釈文を出品券の各欄に明記のこと。
- * 墨色についても配慮すること。
- * 規定違反は受け付けない。
- * 秀作賞以上の作品は本会で一括表装する。表装料は作品返却時に指定表装店より代金引換。

会期 令和5年1月4日（水）～1月10日（火）

- ・午前9時30分～午後5時30分（入場は午後5時まで）
- ・最終日は午後2時まで（入場は午後1時30分まで）

会場 東京都美術館2階第2・3展示室（東京都台東区上野公園8-36）

授賞式 令和5年1月8日（日）

褒賞 文部科学大臣賞、学会大賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞、他各賞

◇全日本学生書道展関係の郵便物は「不二」誌競書との混同をさけるため、封筒のおもてに「全日本学生書道展係」と明記のうえ別個に送付すること。

◇本展覧会規定の出品目録や郵便振込用紙の請求はすべて返信用封筒（住所・氏名記入、切手140円貼付）同封のうえ全日本学生書道展係宛に申し込むこと。

《送付先・お問い合わせ》

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3

公益財団法人日本書道教育学会 全日本学生書道展係

電話：03-3234-3956 FAX：03-3234-3548



第13回

漢字造型と 傳統の寫經展

入場
無料

■ 出品者

水寿梧水樹草音秀霞月濤春苑琴翠舟水峰
稻万井望香淡琳桂幸窗香溪玉真清虹淀萩
木山川巳井尾條宮宮川田原橋浦廣川阪田
鈴須立辰永中申二長林福船三安吉吉吉
城和石
鯉應嶺
橋橋保
石石小久
月芳祥園華晃石鳳子仙苑治山山邑
秋蓮香華彩芝小泰景秀清鳳映愛華
野塚宿原倉塚川岡谷木川島林原本
浅飯指上大大小片甲鏑龜小小菅鈴

会期 令和4年9月20日[火]—25日[日]

午前11時～午後7時 (最終日は午後5時まで)

会場 鳩居堂画廊3階・4階

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目7-4

TEL:03-3574-0058

【主催】公益財団法人日本書道教育学会 【後援】学校法人 日本書道藝術専門学校
www.nihonshodou.or.jp

毛筆・ペン・篆刻作品展

第44回 全国公募 千字文大会

会期 令和4年9月24日[土]—26日[月]

会場 日本書道藝術専門学校(第1会場)、東洋文化不二研修所(第2会場)
(東洋文化不二研修所) 〒414-0044 静岡県伊東市川奈 1191 TEL 0557-45-3254

時間 午前10時～午後4時30分 (最終日は午後3時まで)

【主催】学校法人 日本書道藝術専門学校 公益財団法人 日本書道教育学会

入場
無料

〈日本書道藝術専門学校 千字文大会事務局〉

〒414-0051 静岡県伊東市吉田1022 TEL (0557) 45-4194 FAX (0557) 45-3256
www.nihonshodou.ac.jp